

腹を抱えて笑えたし、がっちりハートを掴まれた!
 ディカプリオは、大胆不敵で、勇ましくて、キラキラとまぶしい!
 ジョナ・ヒルは、新たな発見!
 ドラッグみたいに中毒性がある、どんちゃん騒ぎの素晴らしい作品!

ダーレン・アロノフスキー
 (『ブラックスワン』『レスラー』『ノア 約束の舟』監督)

シビれるようなエネルギーに溢れ、ヤバすぎるシーンがいっぱいの
 2013年度、最高的一本。

スコセッシ監督だからこそ実現した昇天ギリギリの演出とパワーみなぎる脚本で、
 実在の起業家ジョーダン・ペルフォートの仰天の実話を、
 腹が捻じれるほど笑える一級のエンタテインメント作品に昇華させた。

ピーター・トラヴァース
 (ローリングストーン誌)

ゴールデン・グローブ賞 作品賞&主演男優賞ノミネート!
 早くもアカデミー賞® 最有力との声!

◎第71回 ゴールデン・グローブ賞
 作品賞(ミュージカル・コメディ部門)、主演男優賞 ノミネート

◎ナショナル・ボード・オブ・レビュー

脚色賞、スポットライト賞(マーティン・スコセッシ監督とレオナルド・ディカプリオの
 キャリア・コラボレーションに対して)、トップ10作品 受賞

◎アメリカ映画協会賞
 作品賞トップ10

◎サテライト賞 主要5部門ノミネート
 作品賞、主演男優賞、監督賞、脚色賞、編集賞

◎ブロードキャスト映画批評家協会賞
 主要6部門ノミネート

作品賞、監督賞、アンサンブル演技賞、脚色賞、
 編集賞、コメディ映画男優賞

◎サンフランシスコ映画批評家協会賞 主要5部門ノミネート
 作品賞、主演男優賞、監督賞、脚色賞、編集賞

◎ワシントンDC映画批評家協会賞 主要3部門ノミネート
 主演男優賞、監督賞、脚色賞

◎ポスト映画批評家協会賞
 作品賞次点(Runner-Up)、主演男優賞次点、監督賞次点

◎シカゴ映画批評家協会賞 2部門ノミネート
 脚色賞、編集賞

◎デトロイト映画批評家協会賞 主要5部門ノミネート
 主演男優賞、監督賞、アンサンブル演技賞、脚本賞

◎ニューヨーク・オンライン映画批評家協会賞
 作品賞トップ11

◎ボストン・オンライン映画批評家協会賞
 作品賞トップ10

◎インディアナ映画批評家協会賞
 作品賞トップ10

◎サウスイースタン映画批評家協会賞
 作品賞トップ10

◎ダラスフォートワース映画批評家協会賞
 作品賞トップ10

※2013年12月17日現在

監督 **マーティン・スコセッシ**

主演 **レオナルド・ディカプリオ**

5度目のタッグで
 アカデミー賞®
 台風の眼に!

極上のエンタテインメントを生んだ **巨匠**と**名優**たちの絆



マーティン・スコセッシ
 Martin Scorsese

68年に長編監督デビュー以降、『タクシードライバー』(76)から近作『ヒューゴの不思議な発明』(11)まで多くの名作・ヒット作を創造。

監督:マーティン・スコセッシ 出演:レオナルド・ディカプリオ、ジョナ・ヒル、マシュー・マコノヒー、マーゴット・ロビー、ロブ・ライナー、ジャン・デュジャルダン
 配給:パラマウント ピクチャーズ

<http://www.wolfowallstreet.jp>

©2013 Paramount Pictures. All Rights Reserved.

デイバーテッド』をオスカーに導いたマーティン・スコセッシとレオナルド・ディカプリオが、『ウルフ・オブ・ウォールストリート』でまたもやコンビを組む。過去に4作を作ってきた2人は、もはや言葉にしろなくても相手の考えがわかる仲。「世代が違うのに僕らは映画の好みや興味のある題材がものすごく似ているんだ」とディカプリオ。「ジャンゴ 繋がれざる者」で贅沢にふける大農園のオーナー、「華麗なるギャツビー」で20年代の大富豪を演じたことでもわかるように、“欲”はディカプリオが強く関心を抱いているテーマだ。今作では80年代を舞台に、株式ブローカーがきわど

い手法でボロ儲けをする様子を描く。ディカプリオ扮するジョーダンが驚くほどの金を稼ぐのを見て、彼の下で働きたいと志願するのが「マネーボール」のジョナ・ヒル演じるドニー。ディカプリオとヒルの相性は絶妙

で、作品やディカプリオだけでなく、ヒルもこのアワードシーズンに助演部門での健闘が期待されている。2人が繰り広げるウィット

に満ちたシーンの数々はスコセッシの演出法があってこそ生まれたもの。ディカプリオは言う。「マーティンも僕らも十分準備

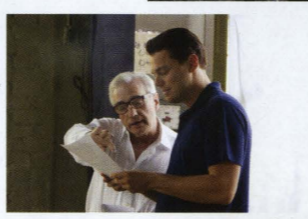
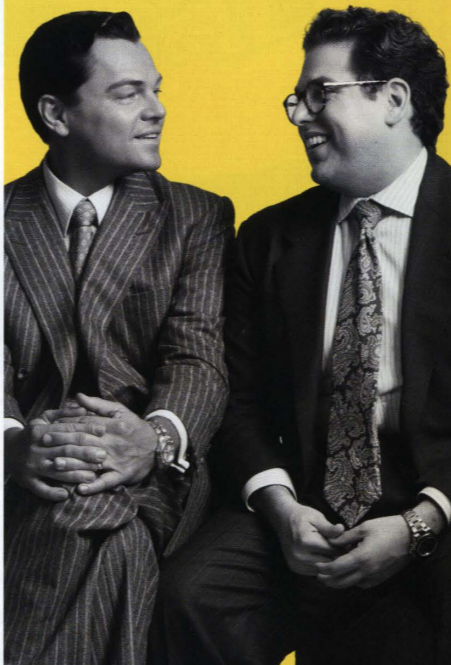
をして挑むけれど、いざ現場に入ったならマーティンは俳優にアドリブを奨励する。その場で自然に何か生まれることを期待するんだよ。

もし極端なことをやってしまっても、最後にはマーティンが正しいカットを選んでくれるとわかっているから、僕らも思いきりやれるのさ」。この信頼関係が傑作を生み出すのだ。

(取材・文=猿渡由紀)

レオナルド・ディカプリオ
 Leonardo DiCaprio

「ギャング・オブ・ニューヨーク」(02)、「ディバーテッド」(06)、「シャッター アイランド」(09)などでスコセッシと名コンビぶりを披露。



ジョナ・ヒル
 Jonah Hill

「40歳の童貞男」(05)などのコメディ演技で注目された後「マネーボール」(11)でアカデミー賞助演男優賞候補に。硬軟自在の演技派。

アカデミー賞®受賞監督 マーティン・スコセッシ × アカデミー賞®ノミネート レオナルド・ディカプリオ

ウルフ・オブ・ウォールストリート

公式ガイド

2014年
 1/31(金)
 公開!



仰天、興奮、衝撃!
 欲をカネに換えた男のヤバすぎる生き様を特集!

Powered by
シネコン

TAKE FREE

実在した株式ブローカーの

成功・放蕩・破滅

すべてがエキサイティングな

驚愕のエンタテインメントが誕生!



「金は天下の回りもの」「時は金なり」「地獄の沙汰も金次第」etc...。人の欲望をかき立ててやまない「金」という魔物。世界金融の中心地たるニューヨーク・ウォール街では、その魔力に魅入られ人生を狂わされた人々の伝説が数多く生み出されてきた。なかでも1980～90年代に一世を風靡した株式ブローカー、ジョーダン・ベルフォートほど並外れてスケールがでかく、クレイジーにぶっ飛んだ驚愕伝説の主人公はいない！貯金ゼロで学歴もコネもない男が、あふれんばかりの野心と、人々を魅了する巧みな話術、あっと驚くほどの斬新なアイデアを武器にウォール街でのし上がり、26歳にして年収49億円というビッグ・サクセスを獲得。だが、美女もドラッグも手に入れ放題、一度のディナーに260万円を浪費するパブリーな豪遊生活に踊り狂ったジョーダンは、しだいにあらゆる常識もモラルも見失っていく。尽き果てぬ欲望と狂乱に満ちた放蕩人生のまさかの末路とは…？

ジョーダン・ベルフォート (レオナルド・ディカプリオ)

ウォール街の株式ブローカーとなった当日に「ブラック・マンデー」が勃発し失業。その後、26歳で証券会社を設立し、人の心を掴む才能で、貯金ゼロから年収49億円を稼ぐ億万長者に。3つの政府機関から目をつけられている。
年齢 26歳
職業 起業家 / ストラットン・オークモントCEO
年収 49億円
家族 再婚した元モデルの妻と2人の子供
所有物 特注のジョルジオ・アルマーニのスーツ、400万円の腕時計、白のフェラーリなど車6台、馬3頭
独身最後のどんちゃん騒ぎ 2億円(コルガール100名分送)
地中海で沈めたクルーザー NAOMI号 約52m
※注: 実在の人物ですが何か?



THE WOLF OF WALL STREET



ターゲットは富裕層

経済誌フォーブスの特集で、金持ちから金を取り上げる「歪んだロビンフッド」と称されたジョーダン。彼は大胆にも、顧客を国民の1%であるリッチ・ピープルに限定。富裕層の食欲さに巧みにつけ込み、巨額の取引を繰り返すことで、マネーゲームに勝ち続ける。

「ウォール街の狼」と呼ばれた男の

破天荒な生き様

3分間で12億円を稼ぎ出せ!



大口の顧客を持てばたった3分のセールストークで12億円稼ぐことだって夢じゃない。電話の相手に考える時間も「NO」という隙も与えず、とにかくイケイケの姿勢で株を売りまくり市場を支配。わずか社員12人で始めた会社を、瞬く間に700人を抱える大企業へと押し上げたのだ!



武器は自信とカリスマ性

欲望と野心を隠すことなく、またそれらを実現させるスキルもあり。一流のスーツに身を包み、自信に満ちあふれた態度で周囲を魅了する。「金持ちになれば、金はい人間をつくる」と突き抜けてポジティブなスピーチに社員は熱狂、業績はうなぎのぼり。そのカリスマ性を武器に、一気に頂点へと駆け上がる。



仕事のやり方だってクレイジー!

仕事をすればするだけお金に結び付くのがジョーダン式ビジネス。社員のモチベーションを上げるため一晩260万円の接待費は当たり前。オフィスでパーティを開いては下着姿の楽団やおむつをはいたチンパンジーを登場させるクレイジーぶり! 彼の辞書に「常識」という言葉はない。



美女もヤバイ遊びも好きなだけ

富も名声も手に入れたジョーダンにとって手に入らないものなどない! 苦労時代を支えてくれた妻を捨て、ゴージャスな美女・ナオミと再婚。アルコールやドラッグ、セックスは仕事の肥やしとばかりにその場のノリでやりたい放題!



COLUMN

「ウルフ」を生んだウォール街って?

マンハッタンにあるウォール街は、ニューヨーク証券取引所など国際的な金融機関が集まる世界経済の中心地。08年のリーマン・ショック以降、世界中に様々な波紋を巻き起こしている。



「欲」は「善」!?

87年のヒット作「ウォール街」の人気キャラクター、ゴードン・ゲッコウが吐く「欲は正しい、欲は善だ」。ウォール街の拝金主義を象徴するかのようなかのセリフは公開当時、物議を醸した。



最高ボーナスなんと77億円!

年収5000万円が高額とはみなされないウォール街。リーマン・ショック前の07年、ゴールドマン・サックスのCEOのボーナスは、約77億円だったという逸話も。

実在した「ウルフ」とは?

90年代に証券詐欺&マネーロンダリングの罪で22か月間収監されたジョーダン・ベルフォート。現在は投資家に返済を続けつつ自己啓発セミナーの講師として再起を図っている。映画本編中のあっと驚く cameo 出演にも注目。

